

日本医療検査科学会 一般検査委員会議事録

【日時】 2023年10月7日(土) 9時から10時

【場所】 パシフィコ横浜国際会議場 317号室および Zoom 会議

【参加者】 石山雅大、宿谷賢一、神山恵多、下澤達雄、堀田真希、横山 貴、菊池春人、清宮正徳、高山知子
(敬称略)

セミナー打ち合わせのため、東野功嗣(アークレイ株式会社)

【議案】

1. 技術セミナーの進行確認

10月7日(土)14:00-15:40 第一会場(503号室)

司会・進行:横山 貴(新潟医療福祉大学)

石山雅大(弘前大学医学部附属病院)

講演 1. 「尿定性検査の勘違い」宿谷 賢一(順天堂大学 医療科学部)

2. 尿試験紙メーカーからの報告

①シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社:池上 孝徳

②栄研化学株式会社:大島 知樹

③アークレイ株式会社:東野 功嗣

3. 総括 堀田 真希(大阪鉄道病院)

4. 討論およびまとめ 25分

2. 来年度の企画について

- ・技術セミナーならば問題提起だけで終わらず委員会としての見解をだしていく方向で進める必要がある
- ・機器を持ち込んでの開催も計画的に実行していきたい
- ・内容については継続して尿定性検査をメインに考えていく
再検査について、偽陽性・偽陰性について、精度管理についてなど偽陽性
- ・今後は尿沈渣についても取り組みたい

3. 委員会の今後も活動について

- ・学会は一般演題発表が重要、それのおサポートができる体制、さらにその後の論文投稿につなげる
- ・出版物の発行
- ・本学会の特徴である多くのメーカーの参加、これを生かしていく
- ・医師、技師、メーカーが参加する学会なのでうまく連携した活動をしていく
- ・社会貢献の一環として海外での活動も視野に入れていきたい
本学会は海外からの参加も多い

4. 内規について

- ・委員会のメンバーについて

- 特に選考基準がない

- 人数制限はないが実働できるメンバーで構成すべき

- 活動内容によって必要なメンバーを人選していく

- メーカーへの声かけは慎重にするべき

- ・今回の技術セミナー講師である3名メーカーの方には委員会に入っただくことをここで了解をとった

- 今後、正式な手続きをしていく

以上